

北山公園



公園がたくさんある!

愛、栗、
田舎の風景、
人への
優しい気持ち



笠間稲荷神社の参道から
本殿までの風景。
雰囲気や佇まいに
親しみを感じます。

地域のあたたかさ!



子育てがしやすい!
児童館の環境も
先生方も大好き!

笠間焼と陶芸家の皆さん!
焼物文化をリスペクトして
飲食店などが器を
使っている気遣いが嬉しい



全部!

市役所の職員さんが
イキイキお仕事してくれていること!
(ありがとうございます!)



笠間市合併 20 周年

平成 18 (2006) 年 3 月 19 日、旧笠間市・旧友部町・旧岩間町が合併。

本年 3 月 19 日、合併 20 周年の節目を迎えます。

笑顔が溢れた日、

力を注いでつくりあげたもの、

負けるもんかと支えあった時、

引き継がれてきた歴史に多くが重なり、

地域がつくられ、文化や産業が栄え、今の姿に。

この 20 年は、かつての 3 自治体が、「笠間市」として一つのアイデンティティ
を築き上げ、未来に向けた土台をつくる期間でもありました。

合併時は 81,256 人だった人口は、2 月 1 日時点で 70,120 人に。

暮らし方、環境との向き合い方が変わっていくなか、

これから笠間をどう心豊かなまちにしていくか。

それぞれの季節に楽しみがあり、食べること、見ること、聴くことに心が動き、
感動できるということは、このまちの豊かさの一つではないでしょうか。

今回の特集では、笠間市の 20 年を振り返り、あらためてまちを見つめ、

ことばにすることでこの先の暮らしのすがたを

皆さんとともに想像してみたいと思います。

安心・安全に暮らし、生涯にわたって学びがあり、笠間での暮らしと思い出が、
皆さんの人生の糧となれるよう、これからも歩みを続けていきます。



今年度さまざまな
記念行事を行いました。
ぜひご覧ください。

四季を感じられる
自然豊かな風景



魅力あふれる笠間の
深い歴史と新しいものへの
チャレンジ精神!



悪態まつり

笠間の栗がほんとに
甘くておいしい

歴史的に大切なものが
たくさんある!

安心する
あたたかいまち

菊まつりや陶炎祭など
イベントが盛ん



＼SNSで皆さんに聞いた／ 笠間の好きなところ 未来に残したいもの

笠間小学校の
シンボルツリー、
大イチョウは
一見の価値あり!

伝統と文化に寄り添った
暮らができるまちづくり



地域の方が子どもに優しい。
登下校中も見守ってくれる。

おいしいコーヒー、
おいしいお店が
いっぱいあるところ

優れた英語教育

上郷の景色

笠間芸術の森
公園



笠間という人。
"笠間人"が好きです。
笠間人の豊かさを
未来に残していきたい。

穏やかに
時間が
流れるところ

歴史ある酒蔵と
日本酒文化

ゴミ袋がピンクで
かわいい

老若男女問わず
ゆったり過ごせる
ところが好き

昔からある
神社仏閣、笠間焼、愛宕山、
それらをさらに良くしようと
してくださる人。もの。



たくさんの回答
ありがとうございました
市ホームページで
さらに紹介しています



笠間市 20年のあゆみ

START

2016.9

筑波山地域が「日本ジオパーク」として認定

2016.3

新笠間市10周年記念式典を挙げる

2014.3

石の百年館オープン

2011.3

東日本大震災



2008.12

喜多 真裕美 (旧姓:川崎)さんが市民栄誉賞(第1号)を受賞

2007.11

北関東自動車道(笠間西IC~友部IC)開通

2006.3/19

新笠間市の誕生



2018.6

筑波海軍航空隊記念館 福ちゃんの森公園オープン

2018.8

・台湾現地に「笠間台湾交流事務所」開設
・星野 陸也選手が、国内男子ゴルフツアー「フジサンケイクラシック」優勝(2026年2月時点で欧州ツアー1勝・国内ツアー6勝)



2019.2

県立笠間陶芸高等学校の五味 謙二特命教授が「第25回 日本陶芸展」で最高位「桂宮賜杯」を受賞

2020.1

新型コロナウイルス感染症が国内で初確認、市でもさまざまな対策を講じる(2023年5月に「5類相当」に引き下げ)



2019.9

45年ぶりに「茨城国体」開催(市内は合気道・ゴルフ・軟式野球・クレー射撃の会場に)



2019.5

天皇陛下御即位元号が「令和」へ

2022.4

旧南小学校活用事業により「日本ウェルネス高校」開校「笠間栗ファクトリー 栗加工場」完成

2022.8

「笠間の栗」台湾へ初輸出

2022.9

笠間焼誕生250周年

2022.10

富田家住宅が国の登録有形文化財(建造物)に正式登録

2023.4

大日堂の一般公開開始(2025年11月に国登録有形文化財(建造物)に登録)



2024.5

県立笠間陶芸高等学校の佐藤 雅之特命教授が「2024台湾国際陶磁ビエンナーレ」でグランプリを受賞

2024.4

富施 郁哉選手がボクシング「第76代日本バンタム級王座」獲得

2024.3

町田 博文さんが「2023年度日本芸術院賞」を受賞

2023.11

井上 英基さんが「日本美術展覧会」で特選を初受賞(2025年に2度目の受賞)

2023.9

全国モンブラン大会初開催(2025年には笠間市代表が優勝)



2025.11

スポーツ庁「スポーツ・健康まちづくり優良自治体表彰」で、笠間市が5年連続選出

2025.12

「あたご天狗の森リノベーション」がいばらきデザインセレクション大賞受賞



2026.1

畑岡 奈紗選手が市民栄誉賞(第2号)を受賞

2026.3/19

笠間市合併20周年

Kasama City's 20-year history





儲かる笠間の栗産地づくり協議会・あいきマロン株式会社

にしの あゆみ
西野 歩さん

笠間市出身。栗の生産加工販売を行う。「儲かる笠間の栗産地づくり協議会」の一員として笠間の栗のブランド力向上にも取り組む。

合同会社マチノメ代表

かわまた けいた
河又 恵太さん

北茨城市出身。地域おこし協力隊として2017年に神奈川県から笠間へ移住し、3年間従事。現在は友部駅近くで日本茶カフェ「まちのベンチ」を営み、友部駅前活性化にも取り組む。

かさまコンシェルジュ・笠間ふるさと案内人の会

ふじもと るな
藤本 瑠南さん

笠間市出身。かさまコンシェルジュ・笠間ふるさと案内人として観光客を案内し、笠間の魅力をPR。いばらき観光マイスターS級グローバル+ 認定

笠間焼協同組合 事務局長

うすや じゅん
磨屋 潤さん

笠間市出身。笠間焼協同組合で陶炎祭や笠間焼の販路開拓などを中心となって行う。

座談会

笠間の「好き」を考える

「笠間焼」「笠間の栗」「地域おこし」「市の魅力発信」などで活躍されている4名による座談会記事をお届けします。市出身者・生活者として、「地域」「家庭」「子育て」にも身をもって経験されている皆さんの「笠間での心豊かな暮らしのすがた」を見つめた座談会です。

この記事とともに、皆さんにも未来に残したい笠間のすがたを考えてもらえたら幸いです。

笠間の好きなところ、
豊かさを感じる瞬間は？

藤 あたりまえのようにある笠間焼とか、稲田石や美術館は、「特別な芸術」ではなくて、芸術が日常のすぐそばにある環境で、土の温もりや豊かな自然に大人になって気がついた時に、笠間の風土の豊かさを感じました。「美しいものを美しく感じられる感覚」を子どもたちにも残してあげたいです。

磨 自然や文化、歴史を伝えていくことが大切ですね。笠間焼協同組合では、小・中学校などへの教育にも取り組んでいます。時間も手間もかかりますが、断ってはいけないと思っています。忘れてしまうかもしれないけど、大人になってから一人でも「あそこな話聞いたな」と思い返してくれる子がいたらいい。これは笠間焼だけではなくてどのジャンルでも通じることですね。

西 東京で暮らして大学に通ううちの子も、「笠間のお米と野菜っておいしかったんだね」と話してくれた時がありました。あと次男は「岩間駅にコンビニがあったらいいのに」と話していて、「たしかに」と思いながらも、考えようによっては、夜は暗くて静かで、不便ともとれるけど、そんなところも魅力だと思います。静かで安全な暮らしというのは、あたりまえのようでありがたいこと。

河 うちの2歳の子は栗の木かどうか分かっていないほど栗が身近なものになっていて、6歳の子も笠間焼を見ながら「誰が作ったの?」と聞く姿に「笠間ならではの」を感じます。

西 「この人がつくった」と顔が浮かんで、食べたり使ったりできるのっていいですね。

未来に残したい笠間のすがた

河 ある程度暮らしの環境が整ったうえで、のぞめばすぐ近くに自然があって、子どもにも不便を感じさせず、そこに「芸術」「食」があるっていうのはすごく強いですね。移住するうえでそこそこ惹かれました。笠間だといたところで陶芸家に会えるし、みんなが陶芸を体験している。これって面白い。

藤 笠間ではまちへの愛着が自然とうまれる体験がたくさんありますよね。

磨 市内小学校で毎年やる「土面づくり教室」も続けるのは大変ですが、やめるのは簡単。やめる選択肢なんてないけど。

藤 ずっとやめないでほしいです。

磨 ね！僕らが生きてるうちはがんばりますよ。

西 コロナの時にも思い知らされましたが、一度やめてしまったことを戻すというのは、子どもが減っているいま、とても難しいことなのだと思います。私が住む岩間地区としては、栗や合気道、愛宕山とか、子どもたちにも自慢できてほしいし、将来にも残してあげたい。

河 僕が住む友部地区でも新しい家やお店ができ、まち並みが変わっていくなかでも、遠くを見たときの「いつも変わらない山並み」に安心します。「あの山並みの景色をなくしたら笠間はいよいよ大変だぞ」というのをみんなの共通認識であってほしいな。

藤 私は仏頂山方面に見える夕焼けの景色が大好き。

西 私は上郷の景色かな。みんなそれぞれ「マイスポット」がありますよね。

藤 ふるさと案内人として笠間の歴史を勉強していますが、笠間のルーツについても豊か。それぞれの代で笠間のまちを整備され、その名残が今のまち並みの道路になっていたり、字名として地名が残っていたり、子どもの頃はなかなか興味もてなかったものも、大人になってから暮らすなかでつながった瞬間が面白くて。この先、子どもたちに「笠間ってすごい歴史があるんだよ」って自然と語れて、価値を次の世代にもつないでいけたらいいなと思います。

磨 僕が残したいのは笠間焼の「精工工場」かな。市内の大きな工事で地下を掘るとまれに粘土にあたるんです。粘土は掘ってすぐ使えるものではなくて、30年ほど置いてから使うのがベスト。なので今動かないと、将来使う粘土がなくなってしまうんです。

―笠間焼も農業も先人たちが紡いできた土や土壌を使って紡いでいくもの。自然が守られないとあたりまえじゃなくなるかもしれないってことですな。

西 農業も一度耕作放棄地にしてしまうと、元に戻すには時間がかかる。市役所を通じて他の方に農地をつないでくれるというのはすごくありがたいです。

こうなったらいいのになと思うことは？

河 若い人が働く環境があるまちであってほしいです。笠間って面白いことをやっている企業が多いですよ。外を見ることももちろん大切ですが、自分が住むまじのことも知ってもらえたらいいですね。

あと子育てでは、他の地域だと自分で申し込まないと体験できないことが、笠間では学校で体験できるのがいいですよ。でもそのことを、子どもや親にも伝わっていない感じがして、悲しく感じる時もある。子育てをしていると漠然と「いろいろ体験させない」と思いますが、「笠間に住んでからできること」がたくさんあると実感できたら豊かな心持ちでいられますよね。あと、あいさつを返してくれる人が多いですよ。子どもと歩いていても「何歳？」と声をかけてくれて、いいまちだなと思います。

藤 子育て支援もさまざまありますよね。

河 市の制度ってけっこういろいろあるけど、知られてないんだなってものがけっこうありますよね。

磨 高齢者への支援もそうですよね。今はネット予約とかが増えてきたから、親からよく操作を頼まれますね。「俺できないからやってくれ」って。

西 私はご近所さんから「スマホ教えて」とよく聞かれますね。うちは栗をやっているから地域のつながりが特に多い。

河 笠間の地域やご近所のお付き合いってちょうどいいですよ。他の地域に移住した方のなかには、気遣いに気遣いが重なって少し負担がうまれてしまうところも。人や地域によることでもあるけど、気がついたら玄関先に畑でとれた野菜が置いてあったり、距離感がちょうどよかったり、気を遣わせすぎない感じが優しいなと思います。

磨 全員を救うことって難しいけど現役世代がそれぞれできる範囲で高齢者をサポートする。できることは、まだまだあると思いますよ。でも僕の親の世代70代は元気な人が多い。スマホに限らずいろいろチャレンジしている。

西 昔の60代70代とは違いますよね。元気だし、アクティブだし。人口が少なくなっているなか、元気である限りは年齢にかかわらず協力して、それぞれの年代が力や経験をだせていけたらいいですよ。私もかっこいいおばあちゃんになっていけたらいいな。

磨 そのとおりですよ。笠間焼協同組合の集まりでも大御所の陶芸家さんから、「これからは次の世代が頑張っていってほしい。それでいい結果が出て、悪い結果になっても、それが笠間焼でいいじゃないか」と話していて、かっこいいな。身が引き締まりました。各世代で活躍できることって違うでしょう。年長者にしか導き出せない答えもあるし、働き盛りの40代50代ができるバランス感覚なこともある、もっと斬新なアイデアは20代30代が出すのかもしれないし。顔を気にせず意見を言い合える、風通しのいい環境を作っていきたいなって感じしています。

西 どの世代も意見が言いやすくて、それでいて後腐れない、「風通しがいい笠間」にしていきたいですよ。

磨 「風通しがいい笠間」いいね。頑張りましょうよ、みんな。

―笠間への愛が溢れる座談会、ありがとうございました。皆さんがこの先も誇れるまちであれるように。市ではこれからも、さまざまな取り組みを行っていきます。これからもご協力をお願いします。

あの人の 押し本

笠間は図書館の貸出数が毎年全国的にトップレベルになる、「本のまち」でもあります。

新しい世界や知識に触れることで、心を豊かにしてくれる読書。

合併 20 周年を記念して開催したイベントで、かさま応援大使・笠間特別観光大使の皆さんに「押し本」を教えてくださいました。

図書館でも読めますので、ぜひご来館ください。

☎ 笠間図書館 TEL.0296-72-5046

かさま
応援大使

はせがわ ちえこ
長谷川 智恵子さん

かさま
応援大使

きた まゆみ
喜多 真裕美さん

『鴨居 玲 死を見つめる男』

長谷川 智恵子 / 著
講談社

没後 40 年が経過し、今なお人を惹きつける作品を残した「鴨居玲」という作家について書いた本です。昨年、弊廊で没後 40 年を記念した展覧会を開催した折には、土曜日に 400 人を超える入場者数がある程、若者から老齢の方まで魅了する稀代の作家です。また、京都、広島、長崎、石川でも展覧会が開催され、人気を博しました。ぜひ本書を通して芸術を感じてみて欲しい一冊です。



『道をひらく』 松下 幸之助 / 著 PHP 研究所

日本を代表する経営者・松下幸之助による短文集。1 ページごとに心に響く言葉が並び、迷いや悩みの中で背中を押してくれます。「自分の人生を変えるのは自分自身」と気づかされ、オリンピックへの道を歩む原動力となった一冊です。



かさま
応援大使

かまだ ゆみこ
鎌田 由美子さん

かさま
応援大使

いわさき ひとし
岩崎 均さん

『ルリユールおじさん』

いせ ひでこ / 作
理論社

大人が読んでもほっこりする本です。「ルリユール」とは手造りの製本のこと。すり切れるくらい読んだ大好きなボロボロの植物図鑑が製本職人の手で生まれ変わり、少女の未来につながる。昔からの手仕事の技が日常の中で誰かを幸せにする、そんなゆっくりとした時間が味わえます。



『美味礼讃』

海老沢 泰久 / 著
文藝春秋

『美味礼讃』という本は辻調理師専門学校の創設者である辻 静雄校長の半生を描いた伝記小説です。元新聞記者であった静雄氏がフランス料理を自分の舌で知るために 9 週間のフランス旅行中に 100 軒近くのレストランで食事をしたという、今の時代では考えられない食への探求心に感動。登場人物の人間関係も面白く、料理や食べる事に興味がある方、食いしん坊な方は読むべし！





笠間特別 観光大使

かわしま しのみ
川嶋 志乃舞さん
チリガール
(CHiLi GiRL)

『パンケーキを焼く。』

大川 雅子／著
誠文堂新光社

笠間稲荷の参道にあるカフェの本棚で出会った一冊です。あたたかく、焼き色がついたような色味の、だけどしっかりとした、まるでパンケーキのような質感のこの本に心惹かれて忘れられず、帰宅後に通販で購入したほど。レシピとともに旅行記や国籍さまざまな友人とのエピソードが香ばしく、ぜひ笠間市の皆さんにも私と同じように笠間市内で出会って欲しい、そんな本です。写真も素敵で、画集として眺めるのもおすすめ！



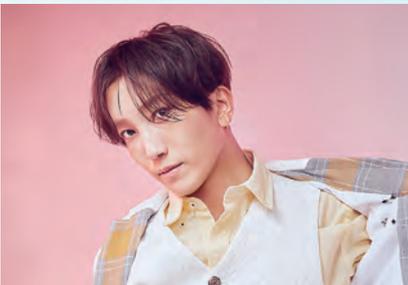
かさま 応援大使

たまがわ ゆうこ
玉川 祐子さん

『100歳で現役！』

玉川 祐子／著
光文社

「生まれ変わったら、やっぱり浪曲師になりたいな。」「浪曲を愛しているよ。」笠間市の山中の家に生まれた少女りよは、どのように浪曲と出会い、現役最年長・103歳の曲師として活躍するようになったのか。子守奉公、浪曲との運命の出会い、弟子入り、曲師転向・三味線修行、結婚、子育て、離婚、浪曲師 玉川桃太郎との再婚、愛弟子・小そめとの毎日…。女性曲師 玉川祐子が波乱万丈の人生を語る！【紹介文：図書館】



笠間特別 観光大使

ザンパ
ZANPA
こう
航さん

『夢をかなえるゾウ』

水野 敬也／著
文響社

以前「ウケる技術」という本を読み当時非常に影響を受けたのですが、その作者が水野敬也さんでした。水野敬也さんが本作を出版した際にこれも絶対面白いと思い即購入。親近感の湧くサラリーマンとインドの神様がネーシャをはじめとする登場人物が、ユーモアあふれる視点で描かれるストーリーを通して“人生を変える為の心構え”を教えてくれる自己啓発小説。シリーズ化され続編も出ていたり、小栗旬さんや古田新太さんなどが出演している実写版もあるので、本書が気に入ったらぜひそちらも観てみてください。



笠間特別 観光大使

ザンパ
ZANPA
ヨーマ
YOMAさん

『遊☆戯☆王』

高橋 和希／著
集英社

世界中で愛されるカードゲーム、「遊戯王デュエルモンスターズ」の原作漫画。気弱な主人公 武藤遊戯が、不思議なパズルを完成させたことで自分の中にもう1人の自分を宿し…とまあ難しい話は抜きにして、俺の青春っす！全38巻、何周したんだってくらい読んだし、アニメもすり切れるほど見たし、カードは何万枚集めたんだってくらいハマりました！好きなモンスターは「ブルーアイズ・ホホワイト・ドラゴン」。老若男女問わずあなたも、「さあ！デュエルスタンバイ！」



(C) 高橋和希 スタジオ・ダイス/集英社



笠間特別 観光大使

ブラザービーツ
Brother Beats

『泣いた赤おに』

浜田 広介／作 つちだ のぶこ／絵
あすなる書房

この絵本とは大人になってから出会い、今でも読み返すたびに色々な答えが出てきます。自分を犠牲にして相手を幸せにすること人の犠牲で自分が幸せになること両者が幸せになる道はなかったのかあたたかくも切ない、とても道徳的で考えさせられるストーリー。あなたはどう感じましたか？



笠間特別 観光大使

ザンパ
ZANPA
よしふみ
義文さん

『ゴールデンスランバー』

伊坂 幸太郎／著
新潮社

この物語は“信じる”ことの難しさと、同時にその強さを描いていると感じました。国家に仕組まれた巨大な陰謀の中で、ただ一人逃げ続ける主人公。それでも彼を助ける人々がいるのは、彼が過去に“ちゃんとした人間”だったから。見えないところでちゃんと見てくれている人がいる、というメッセージに勇気づけられました。

